

令和5年度 学校関係者評価について(報告)

【石神井南幼稚園 保育の目標・ねらい】

- 明るく元気な子 じょうぶな園児
 - 思いやりのある子 → やさしい園児
 - 進んでやりぬく子 よく考える園児
- 教育目標として長年掲げてきた目標を 令和4年度第3者評価の様子から具体的に「今年度の保育のねらい」として表記し、令和6年度の園職員、保護者、地域に示すこととした。

1	石神井南幼稚園の園児をご覧になり、活気があると思いますか。	はい		どちらとも	いいえ	
		92%	8%	0%	0%	0%

○ 次年度開園60周年を迎える本園は、地域の中でのある程度知られている。園児募集に伴いホームページ、Instagram、園だより、学年だよりなどの発信にも力を入れている。

また、令和5年度は、コロナウィルス禍からの再出発を考え、保護者、地域代表を加える体制をとっている。次年度は、**第5類への移行を踏まえた体制づくりを構築し**、その様子をアンケート評価に変え、計画を立てることを考えていく。

2	保護者の通園の様子をご覧になり、マナーや交通ルールを守っていると思いますか。	はい		どちらとも	いいえ	
		25%	34%	34%	7%	0%

○ 毎年、地域警察署と連携をとり、道の歩き方、信号の見方、横断歩道の渡り方について学ぶ機会を作っている。その機会に**警察騎馬隊にも参加**してもらい、年長園児が乗馬をさせてもらい、保護者からの良い評判を聞く。その反面、年々電動自転車での通園者が増え、マナーやルールを守るための処置をとるようにしている。次年度も登園や降園の際、**保育者が門に立ち、挨拶とともに自動車の通行にも十分気を付けるようにしていく**よう計画立てている。

3	掲示物、HP（ホームページ）など、情報発信をしていることを知っていますか。	はい		どちらとも	いいえ	
		75%	25%	0%	0%	0%

○ 園児募集に伴いホームページ、Instagram、園だより、学年だよりなどの発信に力を入れている。入園希望の保護者に聞くと、多くの情報をHPなどの情報発信を利用しているとのことであった。令和6年度は、**日々の情報発信に力を注いでいく**。

4	あいさつ指導をしていますが、生活の中で行われていると思いますか。	はい		どちらとも	いいえ	
		50%	17%	33%	0%	0%

○ 保育者とともに畑や読み聞かせなど多くの保護者の出入りもあり、挨拶ができることで基本的な生活のリズムも形成されている。「どちらとも」が33%とやはり、**挨拶のねらい**とともに、大人が、年長組の園児が、きょうだい関係では、**兄、姉が率先して行う**ようになることで浸透していくと考えられる。

5	受付や電話の対応は、ていねいに行われていると思いますか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		58%	17%	0%	0%	0%	25%

○ 令和5年度は、園からの情報提供、お知らせなどの多くは、スマートフォン・携帯電話を利用し配信している。保護者からの問い合わせなどもスマートフォン・携帯電話のアプリを利用してもらうことで、電話での受け応えも減ってきている。令和6年度も受付や電話での受け答えを丁寧かつスムーズに行えるよう、**朝礼などで細かな連絡を職員に伝え**、問5にかかわるような事案に対応していくよう心掛けていく。

6	地域の要望や希望を取り入れていると思いますか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		34%	34%	25%	0%	0%	7%

○ 保護者に対して、令和5年度は大きな行事後にアンケート調査を行い、多くの要望や希望を取り入れていった。コロナ禍の中、地域の方の出入りを制限したため要望や希望を聞くことができなかった。「どちらとも」「未回答」の32%に当たる声を受け入れることに令和6年度は力を入れていきたい。

7	石神井南幼稚園が、地域にあってよかったと思いますか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		93%	0%	0%	0%	0%	7%

○ 「はい」という声が93%あり、未回答の方も賛同してもらえるよう努力していく。
畑での収穫があるときには、近隣の方々に配布し、季節のめぐりあわせを感じてもらうとともに、行事への関心や理解をしていただけるようにしている。

8	石神井南幼稚園では、毎月第2土曜日に園庭開放を行っていることを知っていますか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		84%	8%	0%	0%	0%	8%

○ 園庭開放は8年前より行われており、5月より毎月1回午前中のみ3月まで開設している。利用者も毎回30組前後の親子が園庭、アスレチックを利用している。入園の参考にしている保護者も多く、開放的な雰囲気や畑に広がる自然環境の中で成立している幼稚園に期待する保護者も多くなる。

9	石神井南幼稚園では、相談員を置いて保護者からの悩みや相談を受けつけています。そのことを知っていますか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		59%	8%	0%	8%	8%	17%

○ 利用者調査結果から「役に立っているか」という問いかけでは、「そう思う」が44%、「どちらでもない」が46%ということ、思わないを加えると非常に高い数字になっている。3年間実施した中で、一定の役割が果たせたということで、令和6年度については休止することとした。園の生活に満足してもらえるよう今後も悩みや相談は担任が受け付け、**公共の機関と連携しながら解決を図っていきたい。**

10	石神井南幼稚園では、満三歳児保育を今年度より始めました。そのことを知っていますか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		92%	0%	0%	0%	0%	8%

○ 冬に行った保護者との個人面談からは、自然の中で子供たちが遊ばせてもらっている、**収穫が醍醐味となっている、興味をもって収穫物を持ち帰った**など、安心安全の中で、ねらいに沿ったスタートが切れている。まだ、地域には周知されていないことも多く、今後の課題ともなっている。

11	石神井南幼稚園では、特色ある活動として、畑でジャガイモ掘りのほか、サツマイモ、ダイコンの収穫を行っています。そのことをご存じですか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		55%	7%	25%	0%	0%	13%

○ 園児の収穫の後に希望する保護者に配布をしたり、園の大きな行事の前に収穫した野菜を配布し、好評を受けている。昨年度は、**ジャガイモの種付け**を年中組が行い、春に収穫を知ることができた。これを機に**各クラス前のテラスに置いて、植物の種まき、栽培を行い、保護者にも好評**をもらった。

12	○ 相談員として依頼している大学在勤の講師を呼び、3年間で教員の実践に向けての質的向上を図り、園内保育を行っています。このことについて興味関心がもてますか。	はい		どちらとも	いいえ		未回答
		86%	5%	0%	0%	0%	9%

○ 元幼稚園長の方3名を招き、研究保育を行ったり、講演会を開いたりしたことで、平素の日案づくりにおいても、園児の行動や成長を具体的に意識しての取り組みが、教員一人ひとりに見ることができた。このことを保護者にも保育参観で見ってもらうだけでなく、コロナ禍が収束する中で、地域の方々にも参観してもらえる機会を作っていきたい。また、よい保育の場面を学年だよりなどにも残していく必要があると考えている。

11	自由記述欄（兩幼稚園についてお気づきのことをお書きください）
1	クラスの部屋がもう少しきれいだとよいと思います。
2	ひとりひとりの個性を大切に、のびのびとした幼稚園でとてもよいと思います。
3	縛りのないとても自由な幼稚園だと思います。種をまき、どんな花が咲くか自宅でも話が出ました。
4	一人ひとりの子供たちが生き生き、のびのび生活している姿が見られ、うれしいです。幼児教育の大切さを園と保護者で話し合い学び合える会があるとよいと思います。学級でのプランター栽培はヒットでしたね。
5	地域になくはない園作りに期待しています。
6	「子供らしさ」がしっかりあり、生き生きとした子供たちが素敵な園元気いっぱい笑顔の多い園だと思います。小学校に入学するにあたって、不登校や学校嫌いが話題にもなり、少し不安です。
7	
8	製作やワークなど毎日やるのが決まっていて、「何をしたらよいかわからない」子にとってはよいと思いますが、自分でやりたいことを探して深めていく時間がもう少しあるとよいと思います。自由時間の廃材製作や外遊び、子供たちに何気ない会話から広がる遊びなど。例えば、絵画なども画用紙を縦に使ったりつなげたり、子供たちのやりたいことを引き出して寄り添えるとよいと思います。
9	園児や保護者に対して、電話や折り返しの手紙などでの丁寧に接してくれることがうれしいです。

【畑の取組みについて】

令和5年度は、1、植物の変化や生育の様子に関心を持ち、自分が育てることを楽しむ。
2、生きている植物の生命力に触れ、命を大切にすることを育む。という2つのねらいに基づき、園内の畑を利用し、園児がいちご、じゃがいも、さつまいも、大根等の種まきや収穫を行った。
自己評価としては、年間を通して、園児が主体性を持ち、日常保育中に植物の種まきから収穫までの一連の体験ができないか、また、畑にある草花や虫の採取等を活発に行えるような保育者の工夫や時間の確保が検討課題となっている。

学校関係者評価委員会からは、畑を有する幼稚園は都内では珍しく、幼少期に自然に触れる実体験を積むことは、子供の成長にとり大変有意義なことであるとの意見が多く、今後も農園活動を継続・展開してほしいとの要望があった。近隣の方からは、農園が本園の特色になっているとの意見もいただいているので、今後も園児が主体的に自然環境に触れ、植物の生育に興味関心が持てるよう配慮していきたい。

【園内研修について】

令和5年度は、元幼稚園長3名を講師として、年間を通して園内研修をおこなった。
「研究保育を通して、自分の保育を振り返る」というめあてを設定し、令和5年5月29日、6月5日の二日間に12クラスの研究保育を3名の講師に見てもらい、指導案の作成指導から保育環境の構成、指導・援助の留意点等を重点的に、保育の録画映像を見ながら全教職員で振り返りを行った。
講師3名からは、園児一人ひとりの個性や特徴、興味あることを保育者が理解し、園児が楽しんで遊んでいる姿が見えるとの評価をいただき、また課題点として、こだわりや苦手な場面での個々の対応の仕方を指導していただいた。

学校関係者評価委員会からは、本園の保育者が園児にやさしい声掛けをしている姿があり、また、保育者と園児に信頼関係がしっかり築かれている。園庭、アスレチック広場、農園等の保育環境が整っており子供が伸び伸びと園生活を送っている雰囲気が見られる。

行事や保育参観、保護者会等で保護者が日常の保育を見る機会が多く、安心、安全な保育環境であるとの評価をいただいた。

今後も研修や保育者同士の情報共有のための時間を確保し、本園の教育水準向上を図りたい。